

167 明治十六年事件經過書（明治十六年十一月）

明治十六年十月二十七日午前第九時寄宿課附屬員舎内巡視ノ際
在舎生何レヘカ遠足スルノ議アルヲ聞キシニヨリ之ヲ逐一寄宿
課員ニ報ス因テ同課員ハ百方意ヲ用ヒテ之カ確説ト原因トヲ知
ラント欲シタレトモ更ニ知ルニ由ナン偶々一学生ノ同課ニ来ル
アルヲ以テ前頭ノ顛末ヲ質セシ処彼ノ云フ所ニ抛レバ本日ハ学
位授与ノ盛典ヲ挙ケラル、祝日ナレバ在舎生モ校中ニアツテ其
歡喜ヲ尽サント欲スレトモ或ハ式場ノ妨害トモナランコトヲ恐ル、
ガ故ニ校外ニ出テ共ニ愉快ヲ取ラント協議一決シタルノミニシ
テ他ニ計ル処アルニアラスト然レトモ同課員ハ之ヲシテ放棄シ置
クノ場合ニアラザルヲ以テ其理由ヲ同課監督ニ開申シ併セテ在
舎生中八九名ヲ招キ懇々説諭ヲ加フルト雖モ更ニ用フルノ色ナ
ク遂ニ午前第十一時三十分ニ至リ在舎生十中ノ九八ハ外出シ実
ニ舎内ハ寂寞タリ是故ニ式場へ参列スルモノ甚タ僅少ニシテ殆
ント在舎生ハ臨場セザカ如シ午後第四時三十分頃寄宿生等無慮

二百有余人分レテ五七人或ハ二三十人ツツ一組ヲ成シ概ネ大酔
シ何処ヨリカ帰校シ来リ南校南側ノ通路或ハ南校西入口ヨリ寄
宿舍ニ通行シ而シテ其西口ヨリ入ルモノ、内一人廊下ニ釣シア
ル洋燈ヲ打落シ為メニ東入口ノ戸扉ニ燃移ラントセシカ幸ニシ
テ本学職員ノ尽力ニ由ツテ撲滅スルヲ得タリ夫ヨリ直チニ食堂
ニ入り器物硝子戸等ヲ毀損スルヲ以テ課員出張シテ頗ル鎮静ニ
尽力スルト雖モ更ニ從フノ色ナク追々人員相加ハリ随テ暴行ヲ
逞フシ食器等悉ク毀テ終リ一同運動場ニ集会シ同所及其近傍ノ
樹木ヲ打折リ又ハ遊戯シ午後第六時頃ニ及ンテ食堂前北方ノ柵
矢来ヲ破リ薄暮ヨリ勢力愈々熾シニシテ廊下ノ板囲ヲ毀テ或ハ
諸入口ノ戸扉等ヲ破リ其暴行〔抹消〕底止スル処ヲ知ラス午后第
六時三十分頃寄宿課員詰所ヲ重囲シ瓦礫ヲ飛シ又ハ木片ヲ擲
チ硝子戸ヲ破リ火鉢机ヲ覆ヘシ洋燈椅子ヲ毀テ実ニ同課員ニ於
テ如何トモ為スベカラス依テ一同事務局ニ引揚シム時ニ第七時
ナリ尋テ南校諸教場ノ戸扉ヲ破リ又ハ瓦礫等ヲ窓戸ニ投付ケ為
メニ硝子等ヲ毀損スル許多ナリ又転シテ表門々衛詰所或ハ玄関
前ノ洋燈ヲ目掛ケ瓦礫木片ヲ投付ケ窓戸ヲ毀損ス夫ヨリ會計課
ニ来リ竹木等ヲ以テ硝子窓ヲ突破リ其他物理学実験室へ礫ヲ擲
チ路傍ノ洋燈ヲ破毀シ爾後一時鎮静ノ模様ナリシガ再び集合シ
テ食堂前ノ残存セシ柵矢来渡リ廊下ノ板囲等ヲ破ルニ至レリ実
ニ其乱暴狼藉尽ササル処ナシ而シテ全ク其鎮静ニ帰センハ午後
第十時過キナリキ是ヨリ先学位授与式ノ前夜ニ予メ取設ケタル
奏楽所ノ周圍并ニ路傍ノ洋燈ヲ毀テ或ハ幕串ヲ拔捨又ハ来觀者
ノ為メ設ケタル諸実験室等ノ路標ヲ倒セシ者アリシモ何者ノ所

為トモ知レザリシガ願フニ右在舎生ノ所為ナランカ爰ニ当夜ニ於テ毀損スル場所及物品等ノ概數ヲ左ニ掲ク

家屋破損之部

一 寄宿舎渡リ廊下所々毀損 百三十間余

一同 締リ口戸扉 五ヶ所

一同 廊下窓 二ヶ所

一同 柵矢来 三十四間余

一同 硝子障子 七本

一同 唐戸 十三本

一 硝子戸并ニ障子ノ硝子板 百九十枚余

在舎生食料賄人所有品ノ部

一 膳 二百人前

一 皿 二百枚余

一 茶碗 二百個余

一 飯櫃 五個

一 菓罐 二十個余

一 箸箱 二百個余

一 醬油次キ 二十個余

一 飯杓子 五十本余

本学器物毀損ノ部

一 帽子掛 一個

一 コップ 十五個

一 ランプ掛 四個

一 盆 二枚

一 朱肉入 三個

一 糊坪 三個

一 街燈 七本

一 ランプ 四個

此外破損所并ニ器物等ノ毀損之アルト雖モ取調中ナルヲ以テ暫ク之ヲ省ク

十月廿七日ノ夜ハ在舎生等容易ナラザル挙動アリシヲ以テ総理幹事等十数名退庁セス○同廿八日新ニ寄宿課三名ヲ命ス○同日午前第八時ヨリ部長等教員ヲ会合シ前夜学生生徒ノ暴行取調ヲ協議ス○同日午後在舎生殆ント一統一封ノ謝罪書ヲ総理ニ呈ス○同廿九日諸教員等百方力ヲ尽シ在舎生ニ諭スニ今回ノ暴行者ヲシテ自首セシムルコトヲ以テス然ルニ彼等前ニハ其説諭ヲ用ヒザリシモ後ニハ漸ク心服スルモノ少ナカラス翌日ニ及ンデハ陸續自首スルニ至レリ○同三十日在舎生曩ニ総理ニ呈スル処ノ謝罪書ノ取消ヲ出願ス仍テ之ヲ返附ス○同日教員等二十五名ニ学生生徒暴行取調委員ヲ命シ在舎生二百七十余名ヲ召喚シ各人ニ暴行ノ顛末及其理由ヲ質サシム翌三十一日午後第八時ニ至ツテ全ク其審問ヲ卒ユ尋ヒテ委員会ヲ開キ各々調査セシ処ノ口供ヲ以テ罪状ノ區別ヲ論議セシム

十一月一日曩ニ暴行セシモノ、罪案ヲ審議ス○同二日在舎生中暴行ニ関セシモノ百四十五人法理文学部学生八十人及予備門本費生徒六十五人ニ退学ヲ命ス

〔明治十六年十月二十七日事件書類〕(M6)